

日本での一年

国立台湾大学
コウ イクケン
学籍番号 k2590067

かつては見知らぬ街並みだった場所も、今ではすっかり見慣れた風景となり、東京という土地にも少しずつ愛着を抱くようになりました。前学期の終わりに、「来学期はより充実した日々を送り、新しいことにたくさん挑戦しよう」と心に決めたことを思い返すと、その願いを叶えられたと感じています。

今期も様々な実践的な授業に取り組みました。中でも特に印象に残っているのは市原先生の「日本事情演習Ⅲ」です。この授業では、日本の労働文化やビジネス日本語をテーマに、ケーススタディで職場における細やかなマナーや考え方への理解を深めることができました。また、プレゼンテーションや模擬面接を通じて、日本語で自分をアピールする力も向上し、実際の就職活動に対するイメージがより明確になりました。

心残りがなく、今期は勇気を出し、他大学の K-POP カバーダンスサークルに参加し、公演と大学対抗の大会にも出場しました。日本人学生と共に練習し、舞台上に立った経験を通して、日本のダンスサークル文化を身をもって実感できたことは、私にとってとりわけ貴重で忘れがたい思い出となりました。

この一年を振り返ると、日本の美しい四季の移ろいを肌で感じただけでなく、お祭りでの賑わいや屋台グルメ、海辺での人生初の花火大会、さらに浴衣や生け花、茶道といった体験も満喫しました。それに加えて、休暇には東京各地を巡り、鎌倉や熱海、名古屋なども訪れ、それぞれの地域ならではの魅力を存分に味わいました。

最後に、学業面や生活面で支えてくださったお茶大の先生方、そして毎月の振り返りレポートに温かいフィードバックをくださった指導教員の石井先生に深く感謝申し上げます。また、日本人学生や世界各国からの留学生と出会い、交流できたことも、私の留学生生活をより一層豊かで彩りのあるものにしてくれました。

一年間はあっという間でした。交換留学の終了は、私には大学生活の終わりでもあります。これほど輝かしく満ち足りた形で締めくくることができ、日本に来て本当に良かったと感じています。今後も、ここで培った成長や学びを胸に、次の人生のステップへ力強く歩んでいきたいと思っています。

